

2022年7月1日

千葉県内  
高等学校・中学校・小学校  
バレーボール部顧問（指導者） 各位

千葉県バレーボール協会  
副会長 長尾 正利  
【コンプライアンス担当】

千葉県立高等学校バレーボール部顧問の  
傷害事件による逮捕について（ご報告及び注意喚起）

謹啓

猛暑の候、千葉県内の学校関係バレーボール部指導者の皆様におかれましては、ますます御清祥のことと存じ上げます。また、日頃より児童生徒のバレーボール指導にご尽力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり6月29日（水）に、千葉県立松戸高等学校の女子バレーボール部顧問の男性教諭が同校バレーボール部の女子生徒に対する傷害罪の疑いにより逮捕されるという事件が発生いたしました。

事件の概要といたしましては、5月2日（月）同校体育館における朝練習時に、プレーをミスしたことに憤慨し、当該生徒の顔面にバレーボールを数回投げつけ、顔面に全治1週間の打撲傷を負わせたということです。

さらに本件については、6月22日（水）に千葉県教育委員会から戒告の懲戒処分も受けております。

近年、スポーツ界においては、暴力・ハラスメント等の根絶に向けた取組みを推進している中、このような事件が起きてしまったことは極めて遺憾であります。

多くの指導者の方々は、児童生徒のために寸暇を惜しまず、情熱を持って熱心にご指導されておられていることは周知の事実です。しかし、たった1件のこのような事件でこれまで培ってきた信用と信頼を失ってしまうことになりかねません。

千葉県バレーボール協会といたしましては、二度とこのような事件が起きないように、改めてバレーボールに携わる全ての指導者の皆さまに注意喚起をお願いしたいと思います。

末筆ながら、今後は、これまでより一層、暴力・ハラスメント等の根絶に努めて参る所存でございます。何卒趣旨をご理解の上、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

まずは、略儀ではございますが、取り急ぎ書面にてご報告並びに注意喚起とさせていただきます。

敬具